

□頭①

2019 年度服薬サポート勉強会実施報告 ～2018 年度アンケート集計をもとに今年度の活動について～

服薬サポート勉強会運営チーム

- 黒河 優 (ミキ調剤薬局)
- 奥田 洋枝 (本店)
- 鈴木 智美 (尾久ミキ薬局)
- 長久保 久仁子 (日暮里店)
- 加藤 香里 (河田町店)
- 関口 加代子 (上野店)
- 信田 愛 (祖師谷店)

現在、我々は新人薬剤師への教育の一環として服薬サポート勉強会を月に 1 度行っている。前年度よりサポートメンバーが新体制となり、確認テストを導入した。昨年 1 年間を振り返りとして、前年度の新人 14 名のアンケート調査を実施した。その結果を受け、本年度の活動内容と、メンバーとして学んだことを報告する。

【前年度のアンケート結果と考察】

実際に店舗で服薬サポートを行う機会の少ない疾患・テーマについては印象に残ったという回答が多かった。一方、他に学びたい疾患・テーマは分散していた。予習に関しては行っていない新人が目立った。確認テストは全員が復習に大変役立った・役立ったという結果であった。今後の新入社員教育において、多く取り扱う疾患に関しては確認テストを定期的に行い、店舗ごとに希望疾患を選択し服薬サポート勉強会で学ぶ形式が良いのではないかと推察された。その際に、今後は担当回以外も事前にある程度“予習を行わせ、今回同様に勉強会後は確認テストを行う”ことでより効果的な教育ができるのではないかと考察した。

【本年度の取り組み】

“患者様をよく見ること”に重点を置き、対人業務を中心とした業務内容を意識付けさせることを目的として勉強会を開催した。本研究発表では、前半を終えた段階における勉強会の内容とその成果について発表する。

【今後の展望】

「患者のための薬局ビジョン」でもあるように、患者様へのフォローとサポート力を身に着け、一番身近な健康相談が出来る薬剤師になれるような新人教育を引き続き行っていく。